

## 乗鞍岳エコツーリズム推進全体構想の概要

### 1. 背景及び目的

乗鞍岳の自然環境の保全と適正な利用による持続可能な活性化を図るため、エコツーリズムの推進を通じて、自然環境保全の取り組みのもと、観光・体験・保養・学習・研究などを総合的に楽しむことができる山岳体験エリアとしての魅力を向上していくことを目指す。また、高山市街地を含む周辺地域と一体となった楽しみ方の提供も進め、高山市全体の活性化にもつなげていく。

### 2. 概要

#### (1)推進方針

本構想における基本方針は以下のとおりである。

- ①乗鞍岳における自然環境や多様な魅力を発信し、活性化につなげる
- ②乗鞍岳及び周辺地域の地域資源、歴史文化等を活かしたエコツーリズムを推進する
- ③地域住民の乗鞍岳への理解を深め、次世代に守り育てる

#### (2)推進する地域

高山市全域を推進する地域とし、乗鞍岳一帯のコアエリアと周辺地域を特に推進する地域とする。

#### (3)対象となる主な自然観光資源

○自然環境に係るもの

〔動物〕ライチョウ、ニホンカモシカ など

〔植物〕コマクサなどの高山植物

〔動植物の生息地・生育地〕乗鞍岳畳平のお花畑、乗鞍山麓五色ヶ原の森 など

〔地形・地質〕乗鞍岳、槍・穂高連峰、焼岳火山群、平湯大滝、福地化石 など

〔自然景観〕乗鞍岳からの眺望 など

○風俗習慣、伝統的な生活文化に係るもの

〔歴史文化〕乗鞍信仰及び関係する寺社仏閣、乗鞍登山道 など

〔産業資源〕乗鞍スカイライン、奥飛騨温泉郷 など

#### (4)実施方法

各種法令等を遵守した上で、参加者の安全確保、自然観光資源や地域の生活環境を保全するため、本地域におけるエコツーリズムのルールを定めて取り組む。ルールの遵守状況及びツアー内容や課題等については、関係者によって定期的に確認、見直しを行う。

#### (5)推進体制

岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会において、乗鞍岳エコツーリズム検討部会による協議等を行いながら推進する。

本構想における主な自然観光資源



乗鞍バスターミナル (標高 2,702m)



乗鞍岳から望む槍・穂高連峰



国の特別天然記念物・ライチョウ



高山植物の女王・コマクサ



乗鞍山麓五色ヶ原の森・布引滝



奥飛騨温泉郷・新穂高の湯